



『3.11』を忘れない 細川元総理に学べ。

みんなの党目黒区議団 松田 哲也 議員

<脱コンクリート・緑の防波堤>

宮城県議会も全会一致で推進決議をした「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」に対する支援を行うべきだ。

区長 国や県の復興計画との整合性などの課題があり、今後の状況の推移を見ながら支援等の検討を進めていく。

<脱原発・CO₂削減>

東京電力以外から電力を購入できる区有施設は、まだ半数ある。再生エネルギー買取制度の活用やCO₂削減エコポイントも導入せよ。

区長 特定規模電気事業者の供給能力等を考慮し、可能な施設は導入していく。太陽光発電設備の設置には、費用や屋上強度の課題があり検討していく。ポイント制度は先行自治体の制度を研究していく。

<家族の絆>

3世代近居助成制度導入によって、政府の「働くなでしこ大作戦」推進と少子化の改善も図れ。

区長 親世帯との近居・同居が、女性の社会進出や少子化対策に効果があるか判断は難しく、調査・研究課題とする。

<ミニマムインカムの保育>

行政は0歳児1人につき約50万円の保

育コストをかける。現金給付を選択できるようにし、2歳児までは自分で育てたという親が、ムリに働きに出る環境は解消せよ。

区長 現金給付による保育の取り組みは、財源のあり方や効果の検証方法など課題が多く、現時点で検討することは難しい。

<世界と日本の架け橋>

コミュニケーション能力を、どう習得させるのか。首長が教育目標を設定し、それまでの間、教育長が教育演説をせよ。

教育長 区独自の「言語活動指導計画」等でコミュニケーション能力の伸長を図っていく。教育目標等に基づくめぐろ学校教育プランに沿って施策を推進し、執行状況等を議会に報告しているため、首長による教育目標の設定は必要ではない。

<古典の日制定>

古事記1300年、方丈記800年の節目を契機に、日本の文化・歴史を深く知る人材を育てよ。

教育長 子どもたちが古典や歴史を通じて、言葉の美や伝統等を理解し尊重できる態度を育むよう、各校を指導していく。